



盆会で法話される三浦真教先生（8月6日、順慶寺本堂にて）

順慶寺だより



印刷・発行 順慶寺
2022年(令和4年)

9月号

VOL.347

◆◆ 本堂のモニター ◆◆

順慶寺では、令和四年度より、本堂での行事を表示するモニターを使うこととなった。モニターからはパソコンと連動して、プログラムの表示や真宗宗歌、恩徳讃の伴奏がなされる。今年から順慶寺で行う全ての法話の席で、始めに真宗宗歌、終わりに恩徳讃を全員で唱和することとした。

◇ 傷なければ毒の及ぶことはない ◇

今月の釈尊の言葉は、『ダンマパダ』から、

「手に傷がなければ

手で毒を取ろうとも

傷のない手に毒が入らないように

罪を犯さない人に罪はない」(第二四偈)

からの出典です。

今月は、釈尊が祇園精舎におられたとき、沢山の動物を殺して肉を売っていた猟師の妻に語った言葉です。

むかし、長者の娘が沢山の動物を殺して肉を売っていた猟師に一目惚れし、猟師のもとに駆け落ちをして、七人の子供をもうけました。長者の娘は、釈尊の教えも理解し、殺生は苦しみを生むことを知っていましたが、愛する夫のため、献身的に尽くし、家庭も安定し、子供たちも結婚することが出来ました。

ところがある日、殺生の業による苦しみを知る釈尊は、猟師の夫の仕掛けた罠に近づき、獲物の鹿を逃がしてやりました。そこへ、罠を見に来た夫の猟師がやって来て、獲物がかかって

今月の釈尊の言葉

傷のない人に 毒は及ばず 悪の及ぶことがない

◆ダンマパダ(法句経) 第二四偈より

釈尊が、猟師に殺生による業の苦しみを教え、心に傷を負わないように教えた部分です。



若院のテーマカット NO.40



いないことを知り、「此奴が鹿を逃がした」と鹿を仕留めるための弓を引きました。しかし、何か体が硬直して動かなくなっていました。慌てて大声を出して、一緒に猟に出た息子たちを呼び寄せ、釈尊に弓を引かせましたが、やはり硬直して動けなくなりました。

その後、帰りが遅いのを心配した長者の妻が、夫と息子たちを探すと、釈尊に弓を引いて固まっているところを目にしました。思わず妻は、「私のお父さんを殺さないで！」

と大声を出して、夫たちの行為を咎めました。仏心を理解する妻は、咄嗟に釈尊を父親に見立

てたのでした。
釈尊は、その後、弟子たちに「子供
のころから仏心の分かる人は、罪を犯
すことはない」と教えたそうです。

◆ 仏縁は転換を迫る力 ◆

このごろのウクライナ戦争や台湾情
勢を見ても、経済が発展しても世界は
一層混迷を深めているように思えます。
また、私たちが再び戦争に巻き込まれ
たらどうするのか。それを転換させる
方法はあるのでしょうか。

戦前日本が、多くの優秀で未来を
担うはずの①学徒を戦争に出陣させて
多くの若者が命を落としたことを忘れ
てはなりません。

京都大学で教鞭をとっていた②田辺
元は、戦争の初期には徴兵の延期がな
されていた文系学生に対し、戦況の悪
化に際し徴兵延期の撤廃がなされた

①【学徒出陣】

太平洋戦争における学生・生徒の入隊・
出征。1943年9月東条内閣は理科
系・教員養成系以外の大学・高専在学
生の徴兵猶予を停止し（10月公布）、10
月21日には明治神宮外苑競技場で出陣
学徒壮行会が行われ、12月1日第一回
学徒兵が入営。以後敗戦までに多数の
学徒（1944年10月には徴兵適齢は
19歳に引き下げられた）が戦場におも
むいた。（百科事典マイペディアより）

②【田辺元】

哲学者。東京生れ。東北大・京大の助
教授を経て、1927年西田幾多郎の
後任として京大教授。カント主義から
ヘーゲル研究に進み、西田の影響で「絶
対弁証法」を説いたが、「社会的存在の
論理」で絶対弁証法を（種の論理）と
して具体化し、西田の「場所の論理」に
対抗した。戦後は群馬県山荘に住み、
「懺悔道としての哲学」などを発表した。
1950年文化勲章。（同前参照）

際、「諸君は、…死するも生くるも唯
大君の御為といふ、皇軍の精神を实践
しなくてはならぬ」と記して、学生を
送り出しました。しかし、結果、多く
の学生を戦死させてしまいました。
戦後、田辺元は、多くの学生、とり
わけ自身の担当した哲学の学生の十
数名を戦死させたことに痛恨の極みを
味わい、自らの過誤に頭を上げること
ができなくなりました。そして、今ま
での生き方全てを否定し、「絶望的に
自らを抛ち棄てる」こととなりました。
しかし、全否定をすると、転換を
迫り私を突き動かす力を感じ、その
後書き上げられたのが、「懺悔道とし
ての哲学」という名著です。
転換を迫り突き動かす力、これが
他力であり、それを知る心が仏心で
しょう。仏心を知るものには、絶望を
超える力が与えられます。



お彼岸とお盆は、ひと月し
か違わないけど、どちらも
お寺参りやお墓参りは必要なの？



参りは、毎日してくださって
お参りされるのがいいです。

お盆は、お釈迦様がインドの各地を
回られている中で、雨期がやってくる
と生き物が地中から這い出してくるた
め、弟子達とともに移動をやめて修行
に入る時期をいいます。雨期があけて、
また、再び各地を回られる前に、仏弟

子たちに供養として食事を振る舞った
のが盆供養。とくに有名なのは、お弟
子の目連尊者が修行者全員に供養し
たお食事です。
お盆のときに、仏さまのを感じ
て供養するのはそのためです。
また、お彼岸のお中日は、ちょうど、
太陽が真西に沈むとき。西の彼方には
西方浄土があつて、阿弥陀仏が清らか
なお心で迎え入れてくださると聞きま
す。私たちは、お日様が西に沈むとき、
仏さまの世界に思いを馳せて手を合わ
すことがあります。お彼岸のときは、
とくに思いが深くなります。
ですから、お盆、お彼岸とも、仏
さまの世界に還られた、ご先祖様に思
いを馳せるご縁として大切なひととき
です。お経をいただき、仏さまのお智
慧をもつて、ご先祖に遇わせていただ
くことができれば、最もいいことです。

《第二十九回 日常に浸透する仏教》

先日、大学の講義で様々な物
語で見られる仏教というものを
考えました。

代の小説、歌、漫画などに自分が
気づかないレベルで、仏教に通ず
るメッセージがありました。

例えば昨年人気を博した「鬼
滅の刃」には様々な仏教のエッセン
スがちりばめられており、わかり
やすいものでは、「仏説阿弥陀経」
が登場します。ほかに令和の時

「一見して仏教らしくないので
気が付きませんでした。今の
時代に根付く「仏教」というも
のを素通していたことを痛感し
た講義でした。

お寺とともに

お盆の朝



お盆の最終日の八月十五日。連
日の猛暑で、朝早くからお参りに
来られる方も多く、いつもより早
めに本堂の唐戸を開けると、思い
がけず、境内の鉢に白いハスの花が
咲いているのが目に入りました。

お陰様で、一昨年、ハスのお
世話をしてくださる方が、白蓮が
咲くように手配をしてくださった
ので、六月の下旬から境内に沢山
のハスの花が咲き誇るの中で、美
しい白蓮が咲くのが観られるよう
になりました。

ハスの花は、泥の中から美しい
花を咲かせるのですが、わずかに三、
四日で散ってしまいます。花の時期
も大体七月中旬には終わり、あと
はハスの葉っぱが繁るばかりです。
いつもハスの花が散ってしまうと、
あー、ハスは咲く前が一番楽しいの
かもしれないと、つい思いに耽っ
てしまいます。

お盆の最終日、白蓮サプライズ
に、目が覚めた思いがして、猛暑
に負けない元気をいただきました。



順慶寺執事

祠堂新規上納者並びに俱会一処該当事

法名並びに名簿一覽

来たる九月十二日(月)に順慶寺において、秋季永代経(過去五十年間に祠堂金をあげて下さった方々への法要)が開催されます。また、当日、今年五十回忌を迎えて、当山に納骨された方々の俱会一処式も行います。

昨年度(令和三年度)令和三年九月より令和四年八月、新たに祠堂金を順慶寺にお上げ下さり、御紐解き法要(祠堂開き)を執行させて頂いたいただいた方々(または執行予定の方も含む)は、以下の通り。

新規祠堂上納者一覽(敬称略)

- 為普薫院釋尼妙鈴森 スズ
願主 森 忠和(一里山組)
為謙称院釋喜信 津田喜一
為謙澄院釋尼妙慧 津田ちる子
願主 津田浩之(大久屋組)
為浄染院釋光照 池田光治
願主 池田滝也(大久屋組)
為岳法院釋信忍 杉浦信行
為釋尼千華 杉浦ちとせ
願主 杉浦利紀(西丘組)

為寶珠院釋憲道 加藤憲治

願主 加藤節子(前川組)

為一乘院釋尼妙因 清水かづ子

為頼順院釋善匠 清水匠

願主 清水いつ子(平松組)

為釋秀精 神谷秀雄

願主 神谷聡士(名古屋市)

為清曜院釋尼妙意 岡本イチ子

願主 岡本邦夫(市場上組)

為積徳院釋尼妙幸 岡本幸枝

為慈照院釋響護 岡本護

願主 岡本雄一(市場上組)

為釋幸立 神谷幸児

願主 神谷文理(神奈川県)

為釋尼公順 相木きみ子

願主 相木岳彦(北尾組)

為浄明院釋精神 鈴木伸

願主 鈴木正紀(山ノ端組)

為順忍院釋隆感 岡本幹夫

為生前祠堂 岡本郁代

願主 神野和子(豊明市)

③祠堂金は、三分の二を順慶寺の什物拡充などに充て、三分の一を護寺会金として、護寺会会計に積立をさせていただきます。

以下は、本年五十回忌(昭和48年没)で俱会一処を迎えた方の中で、当山納骨堂に納骨されたことが確認された方々です。

俱会一処該当事一覽(敬称略)

- 1月23日 加藤はるの 加藤勝信の母
2月3日 神谷紀久恵 神谷庄一の娘
2月17日 竹内宇一 竹内利明の父
2月24日 谷 利 谷勝彦の母
2月27日 塚本博治 塚本英喜の父
3月4日 鈴木ふみ 鈴木憲政の母
3月22日 岡本きく 岡本博和の祖母
5月27日 志水紀枝 志水勝弘の娘
5月29日 加藤信芳 加藤勝信の父
6月15日 池田圓重 池田篤紀の父
6月30日 相木義治 相木義典の父
7月31日 加藤きし
9月15日 相木栄吉 相木信義の養父
9月23日 相木ふき 相木正義の母
9月25日 塚本銀左 塚本茂樹の父
11月19日 相木むら 相木佳義の母
12月22日 塚本志貴郎 塚本忠の父
12月25日 志水清九郎 志水清三の父
12月25日 古谷貞男 古谷しづみの夫
以上19名

8月度護寺会物故者

釋風務

7月30日寂 鈴木 務(71)

刈谷市 鈴木住枝様の夫

妙体院釋幸道

7月30日寂 池田幸夫(89)

みよし市 池田克孝様の父

釋尼美音

8月1日寂 岡本美喜子(88)

市場下組 岡本功様の母

精義院釋英玄

8月12日寂 加藤英一(94)

高畑組 古沢久長様の義父

浄融院釋敏孝

8月22日寂 白澤敏夫(79)

豊明市 白澤直江様の夫

5名の順慶寺護寺会員の方が生前の役割を終えられ、浄土におかえりになりました。合掌

編集部短信

◆盆会に参加多数 8月6日、順慶寺にて盆会が開催された。本堂に納骨された方に案内を限定したが、ディスプレイをとった本堂は満堂となり庫裏席にあふれた。当日、宝物の風入会も実施したが、密になることを避け、宝物の解説は中止に。

◆寺カフェ&子ども会コラボ盛会 8月1日、こどもかいと寺カフェが初コラボ。寺カフェに来られた皆さんが、若院の主催するこどもかいにも参加し盛況となった。



お盆に咲いた白蓮

編集雑記

8月、宝物のお虫干しのために、玄関に古い掛け軸などを若院と出しました。手伝う若院から、軸の痛みが指摘されましたが、費用も掛かるのでなかなか修復することはできません。そのとき、古い掛け軸は、大切に扱わないと紙や紐の劣化、縁の飾りの剥がれが酷くなるから、優しく扱いなさいと伝えました。いつの間にか、若い頃は考えもしなかった、昔のことを育み伝える立場になっている自分に驚きました。(住)

今は夏休みなのですが、大学のゼミの先生から『浄土論註』という書をそのまま読んでみると指導されました。漢文を参考書もなしに白文でそのまま読み進めることになるので、現在進行形で頭を抱えています。この夏で何か一つでも収穫があると良いのですが。(若)



9月の主な行事予定

日	曜	行事内容	掃除当番
1	木	寺カフェ (9:00~12:00、順慶寺本堂南落間等にて)	木-1
2	金	泉田同行話し合い (14:00、泉田町西念寺)	
3	土	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">第1回 寺カフェ講座 オレオレ詐欺について</p> <p style="text-align: center;">日時 9月1日 (木曜日)</p> <p>場所 順慶寺本堂 時間 10時30分~11時 講師 愛知県刈谷警察署 生活安全課 警部補 島田祐佳さん</p>  </div>	
4	日		
5	月		
6	火		
7	水		
8	木	大掃除 (8:00、順慶寺)	木-2
9	金		
10	土		
11	日		
12	月	祠堂法要・俱会一処式 (9:30~、順慶寺本堂)	
13	火		
14	水		
15	木	同朋ゼミ (14:00、順慶寺)	木-3
16	金		

17	土	順慶寺こどもかい (9:00、順慶寺本堂)	
18	日	真宗講座 (19:00、順慶寺本堂)	
19	月		敬老の日
20	火	みのり会追弔会 (10:00、順慶寺本堂)	
21	水		
22	木		木-4
23	金		秋分の日
24	土		
25	日		
26	月		
27	火		
28	水	宗祖聖人御命日 (7:00、順慶寺本堂)	
29	木		
30	金		
10/1	土	(寺カフェ)	
10/2	日		
10/3	月		

9月行事内容 詳細

祠堂法要・俱会一処式

9月12日(月)

午前9時半より 順慶寺本堂他
法話 伊奈祐諦氏

順慶寺に過去五十年間に祠堂があがっている方に対する、祠堂法要を厳修いたします。

本年もコロナウイルス対策のため、本堂および、リモート席として、書院、庫裏にそれぞれ席を設け、七十名まで受け容れます。また、本堂の浜縁にも臨時席を設けます。本年は、法話も実施させていただきます。また、お斎は、お勝手会の準備した弁当を配布させていただきます。

※同日、今年五十回忌を迎えた方のお骨を納骨堂下に埋骨する俱会一処式も実施いたします。

祠堂法要日程

9月12日(月) 午前9時半から

会場・順慶寺本堂(35席)と浜縁

同書院(15席) 同庫裏(20席)

○9時30分~10時10分 祠堂法要

本堂にてお経中に焼香

○10時15分~10時45分 俱会一処式

○10時50分~正午 法話(二席)

講師・伊奈祐諦氏

◎俱会一処式の案内のある方も、
法要開始時から御参詣ください。

おしらせ

●寺カフェコラボでオレオレ講座

9月1日、寺カフェでは本堂を借りて、刈谷警察署の方を講師に招いてオレオレ詐欺講座を開催することになりました。参加は自由ですが、コロナのため本堂の席に制限があります。

●同朋ゼミ開講について

順慶寺では、多くの方の要望にこたえて新たに同朋ゼミを開講することになりました。同朋ゼミでは、東本願寺から出

版される月刊誌「同朋」と西本願寺から出版される季刊「せいいてん」を使って、参加者で談話をする会です。参加希望者は、直接当日申込をしてください。

●お楽しみ会再開について

コロナのため二年間休会になっていた、お楽しみ会(老人談話会)を十月より再開することになりました。詳しくは、十月号の寺報を参照してください。

じゅんこのときめき歳時記 こおるぎ

みなさん、9月になって、少しずつ夜が涼しくなって、体が休まるようになりましてね。でも、夏の暑さが一段落すると、今度は夏の疲れがでるので、「秋バテ」というそうです。

秋になったと一番感じるのは、秋の夜長に聞こえる、虫の鳴き声。お寺の境内では、いつもたくさん虫の声が聞こえたので、京都の下宿にいた今となっては、懐かしい秋の想い出です。

ところで、地球温暖化の中で、こおるぎが食べ物になるって知っていますか。雑食性のこおるぎから、1kgをタンパク質を生産するのに必要な餌や水は、鶏や豚に比べてきわめて少なく、

排出ガスも含め最も環境に負荷が大きいとされる牛と比べると、十倍以上環境に優しいようです。「サーキュレーターフード」として期待されるこおるぎが、貴重なタンパク源として食卓にのぼる日は近いかもしれません。

こほろぎが
わたりのたべものたべた
種田山頭火

